

# 平成28年度指定管理者運営状況検証シート

県所管課	保健福祉部生きがい推進局長寿介護課
------	-------------------

平成29年3月31日現在


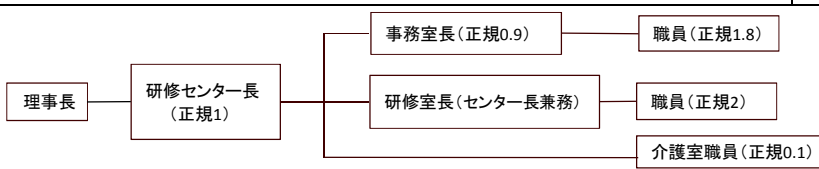
## 1. 施設名等

施設名 (設置年月日)	愛媛県在宅介護研修センター (平成16年4月1日)	所在地 電話 HP	松山市末町甲9番地1 089-914-0721 http://home.e-catv.ne.jp/e-zaitakukaigo
----------------	------------------------------	-----------------	---

## 2. 指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 愛と心えひめ	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日 (5年間)
--------	------------------	------	---------------------------------

## 3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	介護を必要とする高齢者を支えるため、その家族、ボランティアなど一般県民に対して、在宅介護に関する研修を行うとともに、介護に関する相談、情報の提供等を行う。	施設の外観 
施設内容	研修室、宿泊室、浴室等	
指定管理者が行う業務	①在宅介護の研修 ②介護に関する相談 ③介護に関する情報の提供 ④介護にかかわる関係団体等との連絡調整 ⑤センターの施設、附属設備等の維持管理 ⑥上記業務に付随する業務	
施設の管理体制		
利用料金等	利用料金制 <input type="checkbox"/> 採用している <input checked="" type="checkbox"/> 採用していない 前年度からの変更 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし (変更ありの場合、その内容) -	
開館日・開館時間	開館日: 年末年始(12/29~1/3)を除く日、開館時間: 午前9時~午後5時	

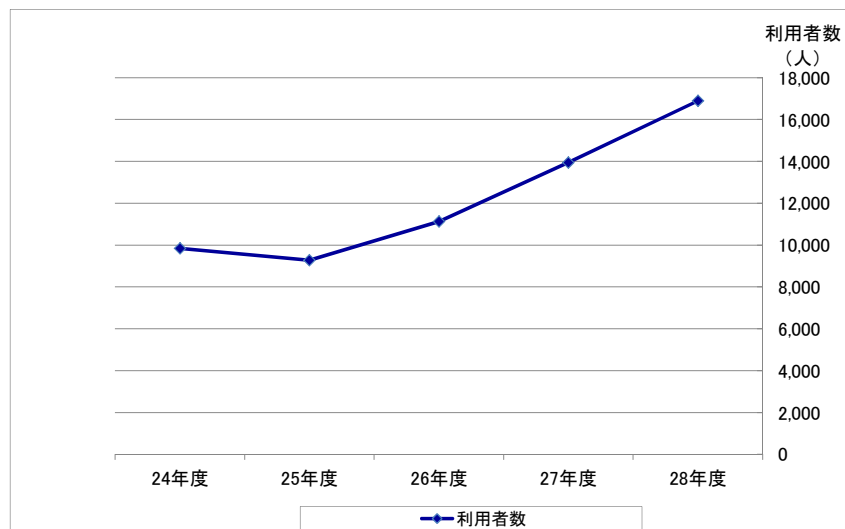
## 4. 指定管理業務に係る県の委託料

年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
県委託料(千円)	42,896	42,896	44,226	44,226	44,226	44,449

## 5. 施設の利用状況

### (1) 施設の利用者数と利用料金収入

年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	対前年度増減率
利用者数(人)	9,838	9,280	11,133	13,938	16,886	21.2 %
利用料金収入(千円)	-	-	-	-	-	-



### (2) 利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由

(利用者数)  
 平成28年度は、熊本地震を受け新たに企画した「災害時における高齢者への生活支援講座」等が好評を博し、出前講座の大幅な増加により、開設以来、過去最高の受講者数となった。<出前講座実績: 開催回数273回(昨年度比90回・49%の増)、受講者数12,606人(昨年度比3,283人・35%の増)>また、出前講座で実施している研修センターの広報が県内外からの見学研修(来所者)の増にも繋がっている。(見学研修: 832人(昨年度比306人・58%の増))

(利用料金収入)  
 -

## 6. サービスの質向上に向けた取組み

### ア) サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は平成28年度の新たな取組み、※は利用者からの要望により実施)

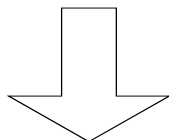
平成28年度の内容	平成29年度の内容(予定も含む)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○研修センターのパンフレットの作成・配布及びホームページへの掲載</li> <li>○主催研修チラシ及び月別一覧表チラシ等の作成・配布</li> <li>○受講者には研修満足度及び希望講座等に係るアンケートを実施</li> <li>○研修用の介護福祉器具の充実及び介護関連図書・DVD等の貸出し</li> <li>○県と協力し、次の事業を実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護に関する「出前講座」及び「施設見学」の強化</li> <li>・アクティブシニア介護ボランティア養成・活用事業と連携した介護講座の開催(四国中央市・東温市・宇和島市)</li> <li>・「働く家族の介護力強化事業」(働く家族の介護力強化セミナー)への協力による現役で働く世代向けの介護の普及啓発の強化</li> <li>☆研修センターへの来所が難しい方達にも出来るだけ多く受講の機会を設けたいという趣旨で、県外講師による主催研修を県下各地で開催</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に引き続き、県外講師にはできるだけ県内各地に出向いていただき、県下各地で多くの方が受講できる機会を設ける。</li> <li>・介護の普及啓発についてすそ野を広げるため、夏休みに親子(小・中学生とその保護者)で学ぶ介護講座を開催予定</li> <li>・研修受講者の利便性を向上させるため、土曜、日曜日にも主催研修等を開催</li> <li>・研修センターの知名度向上及び受講者の増を図るため、県等と協力・連携し事業を推進</li> <li>・介護に関する「出前講座」及び「施設見学」の強化</li> <li>・「働く家族の介護力強化事業」(働く家族の介護力強化セミナー)への協力による現役で働く世代向けの介護の普及啓発の強化</li> <li>・社会福祉協議会及び地域包括支援センターと連携した研修事業の推進</li> </ul>

### イ) 利用者からの声への対応状況(平成28年度)

利用者からの評価や苦情・要望の主な内容	利用者からの苦情・要望への主な対応状況
<p>(利用者からの評価)※アンケートから抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前研修を受けたことがあり、特に入浴の講習は、今も役立っている</li> <li>・このような活動があることを、少しでも多くの人を知ることができるような工夫をしてほしい</li> <li>・一般的にはアンケートは60歳以上でまとめているが、ここは70代80代90代～とあり、高齢者に優しい</li> <li>・介護を含め、生きていく指針をたくさんいただいている</li> <li>・以前認知症の講座を受けたが、よく認知症のことが理解でき、父の介護に役立った</li> <li>・家を改築するときの役に立った</li> <li>・車イスや介護ベッド体験をして、正しい扱い方を知っておかなければいけないと思った</li> <li>・在宅介護で成果を上げている県としてもっとPRして頑張してほしい</li> </ul> <p>(苦情・要望)※アンケートから抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪場が狭く分かりにくい</li> <li>・駐車場の拡大を希望する</li> <li>・東予、南予にも拠点があればよかった</li> <li>・各市町の担当者に教育してほしい</li> <li>・行政職員の研修充実に努めてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者アンケートで、「駐輪場が狭く分かりにくい」という意見が寄せられたことから、自動販売機の横に駐輪スペースを確保し、分かりやすく案内表示を行った。その後のアンケートでは、「駐輪場が大きくなっていて助かる」との声が寄せられている。</li> <li>・「荷物入れがほしい」という意見に対応して荷物入れのカゴを各席に設けているが、「ありがたい」との意見が引き続き多く寄せられている。</li> <li>・「もっと出前講座を増やしてほしい」という意見が多く寄せられているため、受講予定者が少人数であっても、出前講座の開催希望にはできる限り対応している。(出前講座:平成27年度は183講座・受講者数9,323人→平成28年度は273講座・受講者数12,606人と大幅な伸びとなっている。)</li> </ul>

## 7. 平成28年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

指定管理者の自己検証	県の施設所管課の確認・検証意見
<p>・平成28年度の研修実績は、研修開催回数が451回・受講者数は16,886人であり、対前年度比では、開催回数が115回、率で34.2ポイントの増。受講者数では2,948人、率で21.2ポイントの大幅な増となっている。このような数字となった背景には、これからの介護に関する不安や、その為の備えの必要性など、介護問題は避けては通れないという実感を抱いている人が増えてきたということではないだろうか。</p> <p>平成16年に研修センターが出来たときは、まだ「在宅介護」という言葉も、それを学ぶための「在宅介護研修センター」の役割も、あまり重要視されてはいなかったように思う。しかしこの13年間で急速に高齢化は進展し、以前は予想すらしていなかった人も「在宅介護」をせざるを得なくなってきた。今こそ「在宅介護研修センター」としての役割を果たすときと考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県下各地において、地域と連携した多彩な講座を積極的に展開し、過去最高の受講者数(16,886人)を記録したことは高く評価できる。また、熊本地震を受け新たに企画した「災害時における高齢者への生活支援講座」や、センター長による「すぐに役立つ介護講座」シリーズ、現役世代を対象とした「働く家族の介護力強化セミナー」等、地域のニーズに応じた新たな企画は、着実に受講者数の増と満足度の向上に繋がっている。講座を受講した方が、「地元でも講座を開催してほしい」「所属団体の講演に来てほしい」「我が社で講座を開催してほしい」等と、次の出前講座の依頼や見学研修等の来所に繋がるケースがますます増加しており、センターの研修が受講者に高く評価されていることの現れであると考えられる。</li> <li>・様々な工夫により経費節減に努めるとともに、施設・設備については適時・適切なメンテナンスがなされており、安定した運営管理が行われている。</li> <li>・利用者のニーズの把握に努めており、迅速な対応がなされている。</li> <li>・受講者アンケートでも好意的意見が多く寄せられ、利用者の満足度は高い。</li> <li>・施設・設備等の老朽化に伴い、修繕費が増加傾向にあるため、優先度を見極めた上で計画的な予算執行に努めていただきたい。</li> </ul>



## 8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

指定管理者は、多彩な研修を積極的に展開し、在宅介護研修センターの利用促進と、利用者の満足度の向上に努めており、高く評価できる。また、利用者の要望に的確に対応するとともに、円滑かつ安定した運営がなされており、施設・設備も適切なメンテナンスにより良好に保たれている。今後さらに進展する高齢化を見据えた時、増大する介護給付費を抑制しつつ、高齢者一人ひとりの尊厳を支えるケアを確立するためには、地域全体で助け合い支え合う社会づくりを進める必要があり、在宅介護研修センターの存在価値はますます高くなっている。今後も引き続き、広く一般県民を対象として、生きた介護を学ぶことのできる実践的研修を展開し、本県の介護の質の向上と、地域の介護力強化に努めていただきたい。